

V 生涯学習課

1 庶務係

蟹江町社会教育委員名簿

職 名	氏 名
委 員 長	松 本 正 美
副 委 員 長	古 市 雅 英
委 員	高 尾 基 晴
委 員	今 井 雅 良
委 員	伊 藤 辰 男
委 員	山 田 久 子
委 員	岸 幸 雄
委 員	飯 田 數 義
委 員	伊 藤 清 敏
委 員	山 田 清 一

(敬称略)

(1) 社会教育委員の活動状況

① 社会教育委員会議の開催状況

ア 社会教育委員会議の構成

(ア) 会議の種類

定例会（年2回開催5月・10月）

(イ) 構成員

社会教育委員、教育長、教育次長、生涯学習課長、歴史民俗資料館副館長、生涯学習課長補佐、図書館副館長、生涯学習課係長

② 会議の運営状況

平成24年度における蟹江町社会教育委員の定例会の主な活動状況は次のとおりである。

開催日	議案・報告事項等
平成24年 5月31日 (定例会)	【協議事項】 1 平成23年度事業報告について ア 生涯学習・生涯スポーツ関係事業報告について イ 歴史民俗・文化財保護関係事業報告について ウ 蟹江町図書館事業報告について

開催日	議案・報告事項等
平成24年 5月31日 (定例会)	2 平成24年度事業計画について ア 生涯学習・生涯スポーツ関係事業計画について イ 歴史民俗・文化財保護関係事業計画について ウ 蟹江町図書館事業計画について
平成24年 10月24日 (定例会)	【協議事項】 1 蟹江町社会教育委員の経過報告について 2 平成24年度事業経過報告について ア 生涯学習・生涯スポーツ関係事業報告について イ 歴史民俗・文化財保護関係事業報告について ウ 蟹江町図書館事業報告について 3 平成25年度事業計画(案)について ア 生涯学習・生涯スポーツ関係事業計画について イ 歴史民俗・文化財保護関係事業計画について ウ 蟹江町図書館事業計画について

2 生涯学習係

(1) 公民館事業

講座・各種教室の開催

(平成24年度実績)

① 公民館講座

講座・教室名	中央公民館		
	開催数	募集人員	参加数
和装着付け&お作法	2回	15人	申込少数 の為中止
お茶の心教室	4回	15人	16人
初めてのオカリナ教室	5回	20人	15人
水彩画教室	5回	20人	18人

② 公民館自主グループの支援

公民館講座の修了者が、結成した自主グループに対し、施設利

用料の一部を減額することで、団体活動を支援し、公民館活動を促進する。

[点検・評価]

中央公民館・分館では、生涯学習・文化活動の拠点として、学習や交流の場を提供するため、各種講座を開設している。また、参加者に対するアンケート調査を実施し、今後も町民のニーズに応えられるような講座を開設していくことに努めていく。

(2) 家庭教育・人権教育

① 家庭教育講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
わくわく子育て教室	5回	25家族 50人	12家族 26人	蟹江中央公民館
ファミリーウォーキング	1回	100人	16人	民俗資料館から町内一円
親と子の料理教室	1回	15組 30人	15組 30人	蟹江中央公民館
カブトムシを育てよう	1回	60人	46家族 98人	蟹江中央公民館
オオクワガタを育てよう	1回	60人	48家族 104人	蟹江中央公民館
ちょこっと探検隊	1回	20組 40人	申込少数 の為中止	愛知県名古屋空港 昭和村
親子キャンプ教室	1回	50人	6家族 21人	三重県宇賀湫キャンプ場

〔点検・評価〕

わくわく子育て教室については、昨年よりも受講者が減少したが、子育てネットワークのサポート活動もあり、依然として子育てに関する関心が高いことが確認できた。

カブトムシ・オオクワガタを育てようは、親子でカブトムシ・オオクワガタを幼虫から成虫になるまで、観察しながら育て、親子の絆を強めることを目的とした講座で、予想を上回る参加があり、継続を検討したい。

親子キャンプ教室については、町野外活動センター廃止後、他地区で初めての再開であったが、参加申込者が少なく、次年度以降の事業の検討を要する。

他の2事業については、定員に達せず中止となった講座もあり、アンケートを参考に次年度に向けて新しい事業計画を検討していきたい。

(3) 青少年健全育成

① 青少年健全育成講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
子ども料理教室	2回	各24人	23人 21人	蟹江中央公民館
バルーン教室	1回	20人	15人	蟹江中央公民館

② 成人式

「はたち」を迎える新成人が、明るい未来の担い手としての自覚を持ち、社会人としての責任ある行動をとることを願い、地域社会全体で祝い励ます。

(開催日：平成 25 年 1 月 13 日(日) 対象者：410 人 参加者：323 人)

③ 青少年相談事業

青少年問題協議会専門委員による相談事業を毎月 1 回、中央公民館分館にて実施している。

④ 青少年健全育成運動

青少年の非行防止のため、指導者研修会や街頭指導を年 2 回実施している。

[点検・評価]

講座での参加応募は、どちらも若干の定員割れとなっており、今後とも町民のニーズに応じているか検討を要する。

成人式は、町外へ転出している方も出席できるよう、窓口を広げていることもあり、出席率もよい。また、女性からは午後の開催ということが、着付けに早朝から行かなくてもよいことが好評である。

(4) 生涯学習関係団体育成

① 蟹江町文化協会

文化協会の円滑な運営及び芸術文化活動の充実に資するため、補助金を交付し指導・育成する。

9 部門 45 団体 719 人 補助金 1,151,650 円

② 蟹江町婦人会

婦人の地位向上や心豊かな地域社会の発展に寄与することを目的に、婦人会に対し補助金を交付し支援する。

9 支部 14,600 世帯 補助金 1,180,000 円

③ 蟹江町小中学校 P T A 交付金

学校と連携を密に、教育の充実と地域社会の発展・振興に寄与する P T A 活動に対し、交付金を交付し支援する。

7 小中学校 3,000 人 交付金 1,357,800 円

[点検・評価]

町民が健全で豊かな生活を営むために、社会教育関係団体に対して補助金(交付金)を交付することにより、町民の健康と地域文化の向上並びに町民相互の親睦を図ることができる。

(5) 生涯学習まちづくりの推進

① 生涯学習まちづくり推進町民大会の開催

青少年健全育成・家庭教育推進・生涯学習の推進を促す町民大会として開催した。

- ・ 開催日 平成 24 年 7 月 1 日(日) 開催場所 蟹江中央公民館集会室
- ・ 講師 川上 直子氏
演題 なでしこジャパン世界一の軌跡
入場者 193 人

② 文化祭の開催

町内における文化振興を図り、各種文化団体（または個人）の親睦と連携を深め、併せて生涯学習まちづくりを推進する。

- ・ 開催日 平成 24 年 11 月 3 日(土)・4 日(日)
展示の部 2,200 人
芸能の部 30 団体 455 人
- ・ 開催場所 蟹江中央公民館・蟹江町体育館

③ 創年式の開催

60 歳を迎えた方が集い、人生の節目を共に喜び合い、地域への連帯感を確認しながら人生の再出発を祝う。

- ・ 開催日 平成 24 年 10 月 28 日(日) 対象者：480 人 参加者：49 人
- ・ 内容 式典、各種相談コーナー
(健康相談・ボランティア・生涯学習啓発)
- ・ 講演会 柴田みち子氏『新たな いきがい を さがして』

〔点検・評価〕

生涯学習まちづくり推進町民大会は、日曜日に開催日を変更した第二年目にあたり、当日の悪天候などの影響もあって参加者が大幅に減少した。知名度があつて集客力のある講師選定が必要不可欠である。

また、今年で 5 回目の創年式を開催した。対象者から見ると出席率が平成 20 年度が 31%、平成 21 年度が 21%、平成 22 年度は 27%、平成 23 年度は 16%、平成 24 年度は 10%と、出席率が低いのが課題であり、そこで対象者と協働して企画するなどして、創意・工夫し、出席したい内容にしていくことが必要である。

3 歴史民俗係

(1) 歴史民俗資料館利用状況

開館日数及び入館者数(内講座利用者)

- ① 開館日数 306 日
- ② 入館者数 11,874 人(434 人)
- ③ 1 日当たり 38.8 人

〔点検・評価〕

平成 24 年度は、入館者数が 23 年度に比べて 1.5 割程度増加した。その要因として特別展来館者の増加と、団体見学の増加があげられる。特別展では須成祭、鈴木家（現蟹江家）といった、町の歴史や民俗を語るうえで重要な内容をとりあげ関心を高めた。特別展須成祭期間中には愛知県産業観光の見学コースになるなど、観光分野とのタイアップによる効果もあった。

今後も観光協会、ガイドボランティア等の団体とのタイアップにより来館者を誘致するほか、より関心を集める内容の企画を行い、リピーターも増やしていくよう努力する必要がある。

(2) 収集・保管

① 収蔵資料点数 4,050 点

② 郷土文化資料購入

館蔵資料の充実のため、郷土の文化人や町の歴史に関する資料等を購入した。

小酒井不木(医学博士・探偵小説家・俳人) 掛軸	1 点
小酒井不木作品掲載雑誌	3 点
宇佐美江中(画家) 掛軸	1 点
佐藤高越(画家) 掛軸	1 点

③ 資料の寄贈

町内外の方から関連資料 35 点の寄贈を受けた。

④ 収蔵資料の燻蒸

資料館の展示室及び収蔵庫にある資料保護のため薬品による燻蒸を行った。

実施日 平成 24 年 10 月 22 日・平成 25 年 3 月 4 日

実施場所 1 階第一展示室・特別収蔵庫・郷土資料研究室
2 階第二展示室・収蔵庫

[点検・評価]

平成 24 年度においては、小酒井不木に関する資料等の購入および町の歴史民俗に関する資料の寄贈をうけたほか、収蔵資料の燻蒸を行い、保全をはかった。収蔵資料を充実させることも重要であるが、後世に残してゆけるよう保全をはかることも資料館の重要な役目である。

一方、資料の数は年々増加し、既存施設では収容力不足となりつつあり、新たな収蔵施設の充実を図る必要があると思われる。また、収蔵資料情報や、周辺の画像資料などもデジタルデータとして保管していく必要があり、資料保存のための周辺機器や設備を整備する必要がある。

(3) 展示

① 常設展示の充実

年間を通じて、テーマを設定し、郷土の歴史、民俗にかかる資料の展示を行い、さらに購入した郷土文化資料や新たな寄贈資料を加えるなどし、常設展示の充実を図った。

② 企画・特別展示

○ 町の歴史・民俗関連の企画展・特別展を実施した。

ア 特別展

・「須成祭」

展示場所 企画展示室

展示期間 平成 24 年 10 月 27 日～12 月 2 日 来館者数 1,965 人

・「尾州蟹江本町鈴木家(現蟹江家)資料展」

展示場所 企画展示室

展示期間 平成 25 年 2 月 23 日～3 月 23 日 来館者数 1,676 人

イ 企画展

- ・ 「蟹江の祭礼写真展」
展示場所 企画展示室
展示期間 平成 24 年 4 月 1 日～5 月 6 日
- ・ 「須成祭パネル展」
展示場所 ロビー展示
展示期間 平成 24 年 7 月 7 日～8 月 12 日
- ・ 「エコきつず調査隊成果発表展」
展示場所 ロビー展示
展示期間 平成 24 年 8 月 23 日～9 月 9 日
- ・ 「蟹江の秋祭り写真展」
展示場所 企画展示室
展示期間 平成 24 年 9 月 9 日～9 月 30 日

〔点検・評価〕

展示活動は、資料館が資料収集した資料等を調査研究したうえで公開するもので、資料から一目で学習情報を読み取り理解できるという学習効果が望めるという資料館の重要な事業の一つである。

平成 24 年度の特別展においては、民俗分野では須成祭、歴史分野では鈴木家（旧蟹江家）といった町の歴史や民俗を語る上で重要な内容をとりあげ、町内外から関心を集め、多数の来館者があった。

今後も、来館者の満足度の高い内容のテーマ設定・内容の展示をいかに行っていくか、常に配慮することも必要である。

(4) 調査・研究

① 資料館関連資料についての調査・研究

展示内容の充実を図るために、関連資料等の調査・研究を行った。

② その他調査

愛知県史編纂等に伴う調査への協力等を、依頼に応じて随時行った。

〔点検・評価〕

調査・研究した資料を展示し、教育普及・情報提供活動に供する点で、調査・研究活動は資料館運営の根幹事業である。これからも調査・研究事業を円滑に進めていくためには、関係各位の協力が不可欠であり、地域との連携が重要になってくるであろう。

(5) 情報提供

① 各種印刷物等の発行

歴史民俗資料館年報第 33 冊出版

② 関連機関発行の印刷物等への情報提供

新聞社、出版社、放送局などの機関に対し、町の歴史や民俗に関する情報提供を、依頼に応じて随時おこなった。

〔点検・評価〕

歴史民俗資料館年報 33 冊については、教育委員会及び県立図書館などに寄贈したほか、既刊の印刷物とともに窓口で有料配布を行い、資料を持ち帰って学習したいという来館者のニーズに対応している。また、近年、報道機関等からの情報提供の依頼も増加しており、速やかに対応できるよう、データベースを整備しておくことも重要になってきている。

(6) 教育普及

講座・教室名	中央公民館分館		
	開催数	募集人員	参加数
古文書を読む会	8 回	30 人	23 人
歴史文化夢案内人 (ガイドボランティア) 第 8 期養成講座	10 回	15 人	5 人
環境学習 エコきっず調査隊	5 回	20 人	20 人
郷土体験学習会	5 回	25 人	26 人
地域文化財講座	1 回	60 人	46 人
文化財研修会	1 回	100 人	72 人

〔点検・評価〕

地域の歴史や民俗に関する各種講座を開催した。また、受講後に学んだことをどのように地域活動に活かすことができるか、ということ考虑したボランティア養成講座も実施した。地域文化財講座は、平成 24 年度に終了した、町天然記念物である龍照院イチョウの環境整備事業の成果をうけて実施、文化財研修会は、須成祭が国指定の重要無形民俗文化財となったことをうけ開催した特別展「須成祭」期間中に、関連事業として実施した。須成地区の方はもとより広い地域の方に受講いただき関心の高さがうかがえた。今後も多くの方に関心を持っていただけるような内容で事業を推進していくよう努力していきたい。

4 文化財保護係

(1) 文化財保護審議会の開催

平成24年 3 月 8 日須成祭が国の重要無形民俗文化財に指定されたことから、その経緯および町の文化財保護事業について報告をおこなった。

開催日 平成24年 6 月 6 日 出席委員 6 名

(2) 文化財保護等補助事業

町内文化財保護団体に対し、文化財保護にかかる経費の補助を行い、歴史・文化の形成を正しく理解する上での基礎資料である文化財を、過去から未来に保存・伝承し、活用を図る等、人的・物的支援を実施した。

事業数：県指定無形民俗文化財伝承活動事業始め 6 事業

補助団体件数：須成文化財保護委員会始め 22 件 町費補助額 3,498,000 円

(3) 文化財資料出展公開事業

10 月の町民まつりに併せて、各町内会に協力を依頼し、町内に存する神楽屋形や祭囃子等をまつり会場にて出展公開した。

公開期日 平成 24 年 10 月 12 日(日)

協力町内会 須成、蟹江新町、今、源氏才勝、西大海用、本町分、舟入

(4) 重要文化財公開事業

国指定重要文化財である龍照院の十一面観音立像と富吉建速神社・八劔社本殿の公開を毎月 18 日に行ったほか、事前申し込みにより随時公開を行った。

(5) 須成祭解説パネル作成

重要無形民俗文化財に指定された須成祭について、祭りの普及・啓発をはかるため、写真を掲載した解説パネルを 15 枚作成した。

〔点検・評価〕

平成 24 年 3 月 8 日須成祭が国の重要無形民俗文化財に指定されたが、文化財保護の観点に立った場合、指定されたことは、到達点なのではなく、貴重な文化財を後世に残すための取り組みをどう行っていくかという課題の始まりだともいえる。平成 24 年度においては、補助金の交付や須成祭解説パネルを作成したほか、展示か教育普及活動においても須成祭をとりあげ、保護とともに普及・啓発活動を行った。今後も積極的に保護事業とともに普及・啓発活動を行っていく必要がある。

補助事業及び文化財公開活動では須成祭のほか、各地域に伝承された祭を始めとする無形民俗財産を積極的な保存・活用に努めることが出来た。

文化財公開に際して歴史文化ボランティアの人材を活用することにより文化財に対する理解などを深める効果があり、多くの層の方に来場いただいた。

5 生涯スポーツ係

(1) スポーツ事業

① 各種スポーツ教室

町民が日常生活の中にスポーツを取り入れ、楽しみながら体力向上と健康増進を図ることを目的として開催した。

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
ヨガ教室	5 回	50 人	43 人	蟹江町体育館
ノルディックウォーキング教室	2 回	30 人	10 人	日光川ウォーターパーク

点検・評価]

講座・教室の参加応募は、ヨガ教室については43名で昨年の59名から若干減少した。ノルディックウォーキング教室は、新規開設講座であったが、まだ一般には馴染みの薄いスポーツであったため参加者数が思いの外少なく、今後急速に普及する可能性も有り、次年度以降も開催を予定している。今後、時期・時間帯等を検討し、住民ニーズの把握に努め、参加者が参加しやすい講座・教室を開催していく。

(2) 体育(トル)スポーツ推進委員・地区スポーツ協力員

町民がスポーツ及びレクリエーション活動をすることにより、体力の維持・向上を目指しスポーツ推進委員、地区スポーツ協力員を教育委員会が委嘱する。

① 蟹江町(蟹江町をトル・ツル)スポーツ推進委員

- ・ 平成24年度 18人 (平成24年度委嘱)

② 地区スポーツ協力員

- ・ 平成24年度委嘱 (委嘱をトル) 42人

③ 各種講習会

- ・ 指導者研修会

ニュースポーツフェスティバル開催に向け、スポーツ推進委員及び地区スポーツ協力員に対し、指導・普及を目的として講習会を開催した。

【種目】体力テスト、ドッジボール、キンボール、タスポニー、キャッチング・ザ・スティック、スポーツスタッキング

- ・ スポーツ推進委員各種研修会
スポーツ吹矢

[点検・評価]

スポーツ推進委員が、各種研修会へ積極的に参加しスポーツ推進委員の資質向上を目指す。また、地域社会の活性化と住民の豊かな心と健康を図るため、生涯スポーツを推進し、その手段の一つとしてニュースポーツを通じて、町民の運動への関心を高めることが重要であり、スポーツ推進委員を中心として、地区スポーツ協力員と連携し各種教室・大会を開催した。

(3) スポーツ団体の指導・育成

① 生き生きかにえスポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブとして平成22年3月14日に設立。

- ・ 役員 理事 10人 監事 1人

会員数 575人

講座数 常時 17講座 短期 4講座

イベント 2回 (ウォーキング、バスハイキング(伊勢神宮等散策))

- ・ 交付金等 交付金 3,000,000円

② 蟹江町体育協会

体育、スポーツの振興と普及を図り、町民の体力向上を資すると共に、健康で明るい社会の建設を目的とする協会の活動に対し、指導・育成する。

16 団体 1,345 人 補助金 2,574,000 円

③ 蟹江町スポーツ少年団

青少年がスポーツを通じて心身を鍛錬し、青少年の健全育成に資することを目的とした団の活動に対し、指導・育成する。

19 単位団 団員 520 人 指導者 120 人 補助金 792,750 円

[点検・評価]

スポーツ関係者の理解・協力を得て、設立準備委員会、運営委員会を重ねた結果、海部地区で2番目となる総合型地域スポーツクラブ「活き生きかにえスポーツクラブ」が設立され、3年目となり、会員の加入も増加し、順調に運営されている。

体育協会・スポーツ少年団は自主運営がなされているが、会員・団員の増員を図ることや、庶務等の生涯学習課からの事務移譲が課題である。

(4) 各種協議会・大会の開催

① 第7回ニュースポーツフェスティバル(民生部 健康推進課 共催事業)

気軽に楽しめるニュースポーツを通して、明るい町民生活に寄与することを目的として開催する。また、体力テストの実施により健康維持増進に役立つ。

- ・ 実施日 平成24年9月2日(日) 参加者数/145人
- ・ 開催場所 蟹江北中学校

② 第32回 蟹江町みんなで走ろう会

みんなで走ることにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親睦を深めることを目的として開催する。日光川ウォーターパークを発着点として、3km及びジョギングの2部門を実施した。

- ・ 実施日 平成24年12月9日(日) 参加者数/461人
- ・ 開催場所 日光川ウォーターパーク周辺

③ 第33回 蟹江町駅伝大会

チームで走ることにより、相互親睦と協調性を高め、地域住民のスポーツの振興を図ることを目的として開催する。新蟹江小学校を中継点に、5人1組で、17.3km及び12.3kmの2部門を実施予定であったが、前夜からの積雪による走路不良のため中止となった。

- ・ 実施予定日 平成24年1月27日(日) 参加予定チーム/153チーム
- ・ 開催予定場所 新蟹江小学校周辺

④ みんなで歩こう会(年2回開催)

みんなで歩くことにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親睦を深める。また、ウォーキングの習慣を身に付けることで健康増進を図ることを目的として開催した。

- ・ 実施日 平成24年6月3日(日) 場所 岐阜県馬籠・妻籠 参加者 80人
- ・ 実施日 平成24年10月14日(日) 場所 愛知県半田市 参加者 52人

⑤ 愛知万博メモリアル第7回愛知県市町村対抗駅伝競走大会

2005年「愛知万博」を次世代へ語り継ぐと同時に、愛知県内の市町村の交流、市町村合併後の一体化促進、県民意識の高揚、県民スポーツの振興を目的として開催され、参加した。

- ・ 実施日 平成24年12月1日(土) 開催場所 愛・地球博記念公園
- ・ 内容 小学生の部から40歳以上の部まで男女9名による継走
- ・ 出場者 一般公募により選手選考を経て選手決定
- ・ 成績 町村の部 16町村中7位

[点検・評価]

昨今の健康志向により、豊かな自然や町並み散策を兼ねたジョギング、ウォーキングなどへの参加者は年々多くなってきている。当日は前夜からの積雪による走路不良のため中止となった駅伝大会は、町外からの参加も多く、特に盛り上がりを見せていたので残念であった。ニュースポーツフェスティバルは、もう少し参加者が多くなるよう内容を再検討し、より多くの住民が参加したいイベントにしていきたい。

(5) その他

① スポーツ表彰

蟹江町在住・在勤の者が、全国規模のスポーツ大会に蟹江町及び愛知県の代表選手として出場した場合、栄誉を称えるため蟹江町功労者表彰により表彰した。 表彰者／ 8人

② 全国大会等出場選手奨励金支給

アマチュアスポーツ競技の全国大会等に選手として出場する個人または団体の小・中学生に対し、奨励金を支給する。 該当者／ 1人

③ スポーツカレンダーの発行

- ・ 町及び町体育協会等の実施する、年間スポーツ行事を掲載したカレンダーを全戸配布することで、町民に事業参加を促し、スポーツ振興・健康づくりの推進に寄与する。
- ・ 年1回 4月発行 1,000部

〔点検・評価〕

全国規模の各種スポーツ大会へ出場することを、表彰されたり、奨励金を支給されたりすることにより今後のスポーツ活動の糧となり励みとなっている。

6 女性対策係

(1) 女性対策

① 男女共同参画講演会サテラトセミナー

- ・ 開催日 平成25年2月16日(日) 参加者／35人
 - ・ 開催場所 蟹江中央公民館
 - ・ 講師 フェニミストサポートセンター東海
隠岐美智子氏
- 演 題 「DVについて理解を深める」

〔点検・評価〕

男女共同参画講演会として愛知県と共催し、家庭や社会におけるDV被害に対する基礎知識、理解を深める講座「DVについて理解を深める」を開催し、35名の男女の参加があった。今後も県との共催事業を計画していく。

また、国・県主催による女性の地位向上に向けた研修事業等に参加し、男女共同参画に関わる学習事業を企画する必要がある。女性教育活動推進のため、民間の女性教育指導者に対し、女性教育指導者としての資質向上を図る研修事業等に参加を求めていく。

7 施設係

(1) 生涯学習施設、設備及び備品の整備

① 中央公民館分館消防用設備及び蟹江町体育館の施設老朽化に伴う改修を実施した。

中央公民館分館	消防設備受信機等改修工事	1,596,000円
蟹江町体育館	体育館改修工事	120,870,736円
	同設計監理	3,675,000円
	既設配水管改修工事	1,095,150円
	外壁塗装改修工事	15,912,463円
	音響設備改修工事	1,296,750円
	防鳥・蝙蝠対策等工事	546,000円
	フロア金具新設工事	332,850円
	外倉庫内装新設工事	110,250円
	事務室照明器具等修繕工事	351,750円

② 中央公民館外壁・屋上及び体育館分館外壁・屋根の施設老朽化に伴う改修計画を策定した。特に、体育館分館を総合型地域スポーツクラブのクラブハウスとして効率的に利用した。

- ③ 生涯学習施設をPRし、使用方法等を周知し、更に一層の利用促進を図った。
- ④ 学校体育施設を町民の健康増進及びスポーツ振興を図るため、町内小・中学校の屋外・屋内体育施設を町民に開放した。

〔点検・評価〕

グラウンド、テニスコートの有料化も定着してきた。総合型地域スポーツクラブが発足し、今までの体育協会等の既存利用者の利用既得権が強いことから、「生き生きかにえスポーツクラブ」の活動場所の確保が困難であったが、体育施設の有効かつ効果的な利用を推進するために、利用頻度の少ない施設の活用及び、連絡調整に努めた。

施設の老朽化にともない、平成24年度は蟹江町体育館の改修工事を実施し、施設の充実を図ったが、中央公民館及び体育館分館を始めとする生涯学習施設の老朽化が進み、施設改修の必要性が増加してきている。今後、改修計画等を立案し、それに従って順次メンテナンスを行っていく必要がある。